

# よみきがせだより

9月7日に読んだ本



	1組	2組	3組	4組	
1年	<p>パパお月さまとって! 作:エリック・カール どうぶつがすき 作:パトリック・マクドネル</p>	<p>おじいちゃんのごらくごらく 作:西本鶏介</p>	<p>これはおひさま 文:谷川俊太郎 すいかのたね 作:さとうはきこ</p>	<p>今日は1-1をのぞいてみたよ</p> <p>ひさしぶりのぶうるはいれるかな?</p>	
2年		<p>2-1・2-2合同 これはのみのびこ 作:谷川俊太郎</p>	<p>3びきのかわいいオオカミ 作:1-3・2-3・トリビザス</p>		
3年	<p>しゅくだいさかあがり 作:福田岩緒</p>	<p>6がつ6ちゃん はっぱは 作:かこさとし</p>	<p>こうくとちいさなゆきだるまのなつやすみ 作:はせがわさとみ ネコナデール船長 作:おくはらゆめ</p>		
4年	<p>まねきねこのたま 作:キム・ファン このすしなかに 作:塚本やすし</p>	<p>蜘蛛の糸 作:芥川龍之介</p>	<p>きょうはなんてうんがいいんだろう 作:宮西達也</p>		
5年	<p>ENEOS 童話賞 『残されたカレーライス』 作:佐用優子</p>	<p>かわいそうなぞう 作:土家由岐雄</p>	<p>勇気 作:バーナード・ウェーバー</p>		<p>おかあさんの木 作:大川悦生</p>
6年	<p>ブックトーク『宮沢賢治の本紹介』 他多数</p>	<p>ハスの花の精リアン 作:フェン・ジャンク</p>	<p>ほくたちはなぜ、学校へ行くのか 作:石井光太 ひまわりのおか 作:ひまわりをうえたお母さんと菓万丹</p>		<p>いいないなこのうち 作:軽部武宏</p>

おしらせ 9月20～26日は『動物愛護週間』です  
動物の命のこと、お子さんと考えてみませんか。



『さよならチワオ』  
チワワのチワオは、ほくのお兄ちゃん、ときどき弟で、そして大親友だ。そんなチワオも13歳のおじいちゃんになった。老犬介護の絵本。



『ずーっとずーっとだいすきだよ』  
愛する者との死別がテーマの作品です。死んでしまってからでは、もう「好きだ」と言えなくなってしまうから、気持ちをきちんと伝いよう、と語りかけています。小学校の教科書に採用されています。



『ワンワンワン』  
この本は捨てられて収容所に入った経歴の違う3匹の犬の小さな物語です。かわいらしい絵と短い言葉なのですが、とてもせつなく、胸に迫ります。ペットが飼いたいとねだられた時に、ぜひ親子で一読をお勧めします。



『小さないのち まほうをかけられたいのち』  
安波圭子さんは動物愛護センターから犬をひきとり、新しい飼い主へつなぐボランティア。命の期限を切られた犬たちをまるで命の魔法をかけるように、誰からも愛される犬に生まれ変わらせていく。命の大切さを問う写真絵本。